

三宅島の火山活動解説資料

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

本日（4月17日）10時頃より、三宅島西方沖約10kmを震源とする地震が増加しています。三宅島の火山活動に特段の変化はなく、予報警報事項に変更はありません。現在、三宅島には火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）を発表中です。三宅島では、今後も山頂火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、山頂火口周辺（雄山環状線内側）では噴火に対して引き続き警戒して下さい。また、火山ガス予報で予想される地域では火山ガスに警戒して下さい。

○ 活動概況

本日（4月17日）10時頃より、三宅島の西方沖約10kmを震源とする地震が増加しています。

最大地震は17日12時22分頃に発生したマグニチュード4.7（速報値）で、三宅村神着及び三宅村役場臨時庁舎で震度3を観測しました。

最大震度が1以上の地震の発生回数は14時まで10回（うち最大震度3が5回、最大震度2が1回、最大震度1が4回）でした（いずれも速報値）。

三宅島島内の地震活動及び地殻変動に特段の変化はなく、遠望カメラでも特段の変化は観測されていません。

以上のように、三宅島の火山活動に特段の変化はありません。

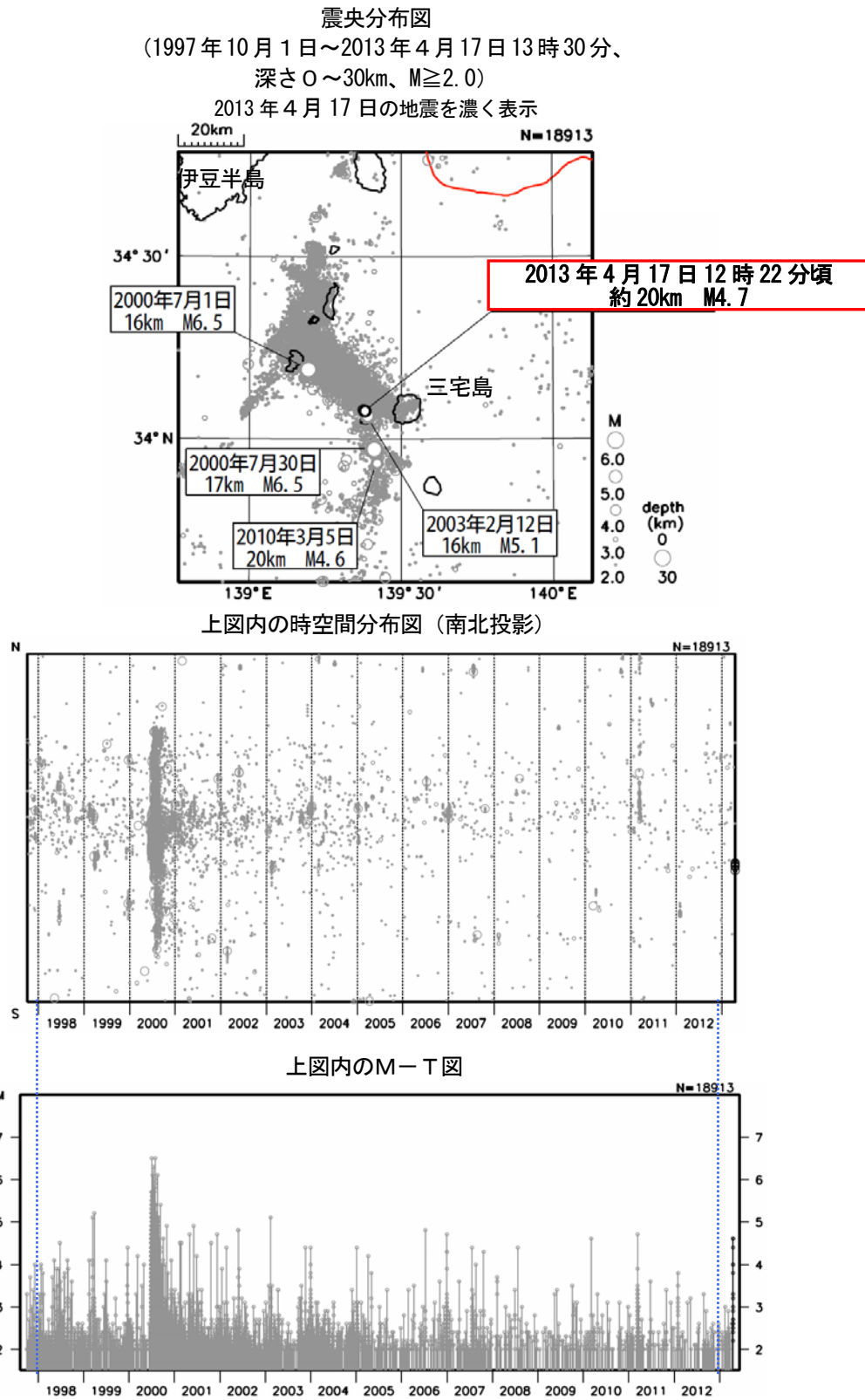


図2 三宅島 広域地震観測網による山体・周辺の震源分布図 (1997年10月1日～2013年4月17日)

M (マグニチュード) は地震の規模を表します。

2013年4月17日10時頃から、三宅島の西方沖約10kmを震源とする地震が増加しています。

図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。